

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 若竹会

## <経営方針>

教育・保育施設として、就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号）及び子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）並びに青森市幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成26年青森市条例第29号）及び青森市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（平成26年青森市条例第28号）その他の関係法令を遵守し、教育及び福祉の向上に努め、地域に密着した教育・保育施設として、児童が伸び伸びと遊べる環境を整え、個人個人を尊重するより良い教育・保育を行っていく。

また、地域のセンター的役割を果たすため、父母の会、高齢者、小学生及び中高生を含めた地域との交流を図り、努めて施設を開放し、「明るく開かれた教育・保育施設」を目指す。

その他、地域の実態を踏まえ、延長、一時預かり、子育て支援、休日保育等を行い、利用しやすい教育・保育施設を目指す。

## <園訓> 健康 ・ 明朗 ・ 誠実 ・ 協調

## I 法人運営

### 1. 役員構成

理事長	工藤勝清	理事	佐藤公正
理事	高田 進	理事	鹿内 隆
理事	田中美穂子	理事	工藤勝顯
監事	中村哲雄	監事	由町 昇

### 2. 第三者委員

中村哲雄 ・ 由町 昇

### 3. 経営する事業

#### ○保育所の経営

保育所名	所在地	定員	特別保育
浪岡若葉保育園 (S49.4 事業開始)	青森市浪岡大字下十川 字扇田191-I	定員 50名 (受入可能119%)	延長保育・休日保育 異年齢児交流事業 小学校低学年受入

#### ○幼保連携型認定こども園の経営

認定こども園名	所在地	定員	特別保育
こども園 瑞穂 (H28.4 事業開始)	青森市浪岡大字女鹿沢 字稲本85	1号 6名 2号 36名 3号 34名 (受入可能119%)	延長保育・休日保育 障がい児保育 異年齢児交流事業 小学校低学年受入

#### ○一時預かり事業の経営（H21.6：届け出）

浪岡若葉保育園 こども園 瑞穂	週3日程度、月14日まで利用可能 保護者の短時間就労、傷病、看護、育児による疲れの解消など 一時的に保育が必要となった児童を預かる。
--------------------	--

○病児保育事業の経営

こども園 瑞穂 (H27.4 事業開始)	利用定員 1日3名 対象児童 0歳～小学3年生 受診し、医師の確認後利用。
-------------------------	--

4. 法人監事の監査会(平成29年5月23日24日 両日午前9時～ こども園 瑞穂 事務室)

監査報告：適・良好

5. 理事会開催状況

理事会					
開催日	議案	出席	開催日	議案	出席
H29.5.30 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監事監査会報告</li> <li>・ H28年度事業報告</li> <li>決算報告</li> <li>・ 役員等の報酬規程及び旅費規程</li> <li>・ H29年度5月補正予算</li> <li>・ 浪岡若葉保育園幼保連携型認定こども園への移行</li> <li>・ 経理規程一部改正</li> </ul>	理事 4名 監事 1名	H29.10.30 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就業規則一部改正</li> <li>・ 浪岡若葉保育園幼保連携型認定こども園への移行</li> <li>・ こども園瑞穂一号認定子ども利用定員増の変更</li> <li>・ 賃金処遇改善について</li> <li>・ 給与表の変更に伴う差額分支給について</li> <li>・ 業務執行状況の報告</li> </ul>	理事 5名 監事 2名
H29.6.17 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長の選任</li> <li>・ 業務執行理事の選任</li> <li>・ 給与規程別表3一部改正</li> </ul>	理事 5名 監事 2名	H30.1.27 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こども園瑞穂及び浪岡若葉保育園の運営規程改正</li> <li>・ 準職員就業規則の改正</li> <li>・ 給与規程の改正</li> <li>・ H29年度1月補正予算</li> <li>・ 評議員会の招集</li> <li>・ 浪岡若葉保育園裏隣接地購入</li> <li>・ 就業規則一部改正</li> <li>・ こども園瑞穂副園長</li> </ul>	理事 5名 監事 2名
H30.3.17 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H29年度3月補正予算</li> <li>・ H30年度こども園瑞穂及び浪岡若葉保育園運営規程一部改正</li> <li>・ 就業規則の改正及び給与規程一部改正</li> <li>・ H30年度事業計画</li> <li>・ 評議員会の招集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定款の変更</li> <li>・ H30年度当初予算</li> <li>・ 継続雇用職員について</li> </ul>			理事 4名 監事 2名

## 6. 評議員会開催状況

評議員会					
開催日	議案	出席	開催日	議案	出席
H29.6.17 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H28 年度決算報告. 財産目録</li> <li>・ 新役員の選任</li> <li>・ 役員等報酬基準</li> <li>・ H29 年度 5 月補正予算</li> </ul>	4 名 監事 2 名	H30.3.27 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H29 年度 3 月補正予算</li> <li>・ 定款の変更・</li> <li>・ H30 年度事業計画</li> <li>・ H30 年度当初予算</li> </ul>	4 名 監事 2 名
H30.1.30 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H29 年度 1 月補正予算</li> <li>・ H28 年度事業報告</li> </ul>	6 名 監事 2 名			

## 7. 平成 28 年度指導監査 (青森市健康福祉政策課 4 名)

◇こども園 瑞穂 平成 29 年 12 月 5 日

◇浪岡若葉保育園 平成 29 年 12 月 6 日

<指摘事項>

○両園共に指導事項無し

## 8. 職員の状況 職員数 42 名 (平成 29 年度)

○職員構成

区分	園長	主任保育士	保育士	准看護師	栄養士・調理員	用務員・その他	計
浪岡若葉保育園	1	1	14	1	2	3	22

区分	園長	主幹保育教諭	保育教諭	准看護師	栄養士・調理員	用務員	計
こども園 瑞穂	1	1	18		2	3	25
病児保育事業			2	1			3

## 9. 職員の健康管理

職員の定期健康診断 (6 月 30 日実施) 場所: こども園瑞穂園庭

青森県総合健診センター附属あおもり健康管理センター

○結果を受け、個人に伝え必要に応じ受診を進める。

10. 職員研修

園内研修

	回数	内 容
浪岡若葉保育園	3回	・保育士としての心得 ・アレルギー児童への対応 ・感染性胃腸炎 ・児童虐待防止 ・自己チェックについて
		毎月：行事反省会 毎週：ミーティング ヒヤリハット報告（報告、改善、対策）
こども園 瑞穂	10回	・感染症 ・怪我と事故 ・保護者対応 ・気になる子 ・虐待 ・手遊び ・第三者評価に向けて（2回） ・SNS ・防災
		毎週：ミーティング

外部研修参加状況

研修名	浪岡若葉保育園	こども園 瑞穂	備考
赤十字指導者協議会研修会		1	保育教諭
青森県保育研究大会		1	保育教諭
平成29年度保育所セミナー		1	保育教諭
平成29年度栄養・食育マネジメントセミナー		1	調理員
運動会実技研修会	1		保育士
主任主幹保育者研修会	1		主任保育士
保育実技研修会	1	1	保育士・保育教諭
病児病後児保育研修会		1	准看護師
健康・体力アップ研修会		1	保育教諭
平成29年度社会福祉施設看護職員研修会		1	准看護師
教育・保育施設職員研修会	3	2	保育士・保育教諭・園長
主任・主幹保育者研修会	1		主任保育士
保育者研修会	3	2	保育士
平成29年度障がい児・者支援セミナー		1	保育教諭
幼保連携型認定こども園の設置の認可・確認勉強会	1		園長
福祉サービス苦情解決関係者等研修会	1	1	園長
児童福祉施設におけるクッキング講座	1		調理員
和太鼓講習会	1		保育士
保育士研修会	2	2	保育士・保育教諭
給食従事者研修会	1	1	調理員
給食研修会	1	2	調理員
新任保育者研修講座	1	1	保育士
カウンセリング研修	1		主任保育士
施設運営セミナー	1		園長
特定給食施設等研修会	1	1	調理員
全国保育士研修会	1	1	主任保育士・主幹保育教諭
施設長研修会	1	1	園長
キャリアアップ研修会		3	保育教諭
幼稚園教諭免許状更新講習	1	4	保育教諭

## ◆福祉サービスにおける苦情解決への取り組み

第三者委員会議の開催＜平成30年5月23日＞

第三者委員2名、各園の受付担当者及び責任者の出席のもと、平成29年度の状況を報告し、状況の把握と今後へと繋げられるよう、話し合いを行う。

## ◆自己評価の取り組み

<浪岡若葉保育園>

1回目：平成29年5月19日 実施

対象：全職員（保育士10名（うち、臨時5名）、パート保育士3名、その他4名）

結果：別紙のとおり

2回目：平成30年3月16日 実施 ※1年の振り返り

対象：全職員（保育士10名（うち、臨時4名）、パート保育士3名、その他4名）※1名産前産後休暇中

<こども園 瑞穂>

平成29年12月1日 実施

対象：全職員

結果：別紙のとおり

## 《浪岡若葉保育園》

<運営方針>

児童福祉法（平成28年法律第65号）及び青森市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成24年常例74号）その他の関係法令を遵守し次のとおり運営する。

1. 児童が伸び伸びと遊べる環境を整え、個人を尊重する保育に努める。
2. 家庭的な雰囲気の中で児童の精神的安定を図る保育に努める。
3. 規律ある生活習慣に体得を図り、児童に良い文化を与える。
4. 家庭及び地域との結び付きを重視し、明るい豊かな子どもに育てる。
5. 市町村、小学校、他の特定教育・保育施設等、地域こども・子育て支援事業を行う者、他の児童福祉施設その他の学校又は保健医療サービス若しくは福祉サービスを提供する者との密接な連携に努める。

<園訓・保育方針>

健康・明朗・誠実・協調

- ・広々とした環境の中で一人一人の状況や発達過程を踏まえ、心身ともに健康な子どもに育つ。
- ・元気な挨拶をし、明るく元気に人との関わりを育む。
- ・他への真心と優しい心を持ち、素直な気持ちを育てる。
- ・豊富な体験により、自分の意思を表せる強い心が育つ。

<提供する教育・保育の内容>

- (1) 健康な心と身体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
- (2) 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人との関わる力を養う。
- (3) 周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れて行こうとする力を養う。
- (4) 経験したことなど自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲を育て、言葉に対する感覚を養う。
- (5) 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

○児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	2	3	3	4	6	9	9	9	9	9	9	10	82
1歳児	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
2歳児	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10	10	11	114
3歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
4歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
5歳児	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	88
計	47	48	48	49	50	53	53	54	54	54	54	56	620

○健康管理

・健康診断

歯科健診	なみおか歯科矯正・こども歯科 ＜柿崎 寛＞	4月25日	10月6日
内科検診	田原小児科内科医院 ＜田原 悌＞	4月10日	10月19日

※当日欠席した児童は、後日受診

- ・発育測定 毎月実施・記録
- ・感染症の予防、早期発見
- ・園児ひとり一人の発育発達の個人差に留意し、健康な生活習慣を身につけ、成長できるように取り組んだ。

○栄養管理

- ・日常の献立作成の栄養管理、荷重平均食料等、パソコンソフトによる給食事務
- ・両園の栄養士による協議
- ・家庭との連携の取れた無理のない離乳が進められた。
- ・アレルギー児童に対しては、それぞれの子どもに対応し、代替食・除去食・アレルギー対応食を行う。
- ・食育計画を立て、保育士と給食担当者が連携を取り、協力しながら進めた。
- ・毎月、給食会議で状況を報告し協議を行い、翌月に活かした目標に繋げた。

○安全管理

・交通安全指導

月	ねらい	指導上の留意点	評価・反省
4月	歩道と車道の違いを知り、正しい道路歩行について学ぶ	紙芝居等を使用し、どの年代にも分かり易いように伝える。	歩道と車道の違い、道路の横断方法を子どもたちと話し合い確認ができた。
5月	交通規則を守り登園する。	交通規則は何故必要で守るべきものか話し合い約束できるようにする。	交通安全教室に参加し、規則について学ぶことができた。
6月	雨天時の傘の使い方を学ぶ。	実際に傘を使用して、傘の安全な使い方や歩き方を理解できるようにする。	保育者と子どもが実際に傘を持って歩く事により、注意力が高まった。
7月	道路への飛び出しの危険性を知る。	紙芝居を見た後に質問し、自ら答える事により理解する。	道路に飛び出さず、どのように渡るのか皆で考え伝えることができた。
8月	信号機に見方と意味を知り、横断歩道の渡り方を知る。	道路での指導を行う為、事前の確認や話し合いをし、注意点を確認する。	事前に分かり易く指導した為、手を上げ、車を見ながら横断していく。

月	ねらい	指導上の留意点	評価・反省
9月	チャイルドシート、シートベルト着用の必要性を知る。	チラシやマスコット等を配布し、保護者・地域住民にも着用を呼び掛ける。	着用の意味や・必要性を子ども達や保護者・地域住民へ伝えることができた。
10月	道路を横断する時の注意点を改めて理解する。	様々な場面での危険性を考え、注意を促すようにする。	散歩や落ち葉拾いをしながら、歩き方の指導ができた。
11月	交通事故の怖さ大変さを知り踏切で遊ぶことの危険性を知る。	実際の事故等について伝え、注意を促すようにする。	実際に起こった事故を伝えることで、事故は怖く悲しいことだと理解する。
12月	冬期間の凍結、雪道の危険性を知り、正しい雪道歩行を知る。	警察官に雪道の危険性について伝えてもらう。	警察官という存在が集中して聞くことに繋がった
1月	落雪・つららについて理解し、軒下の危険性を知る。	全体に伝え、戸外活動で担任より細かく指導する。	活動時だけでなく、送迎時も軒下に行かないように指導することができた。
2月	冬期間の戸外活動において服装、防寒具及び注意事項を知る。	ポケットに手を入れると危険な事や防寒具の必要性を伝える。	転んだ時の危険性や低体温などについて伝えることができた。
3月	交通規則を守ることができたか再確認する。	交通規則を遵守できたか確認する。内容と結果が併っていたか確認する。	忘れていた事もあったが、繰り返し伝える事が重要だと再確認した。

- ・交通指導員による交通安全教室＜5月23日＞
- ・青森南警察署員による交通安全指導＜12月26日＞

#### ◇避難訓練

月日	想定	ねらい	訓練内容
4月21日	火災	火災報知器の音を覚える。非常口の目印と位置を確認する。	避難・消火（模擬）
5月19日	火災	避難訓練の大切さを知る。総合訓練の意味を伝える。	避難・通報・消火（模擬）・総合
6月9日	不審者侵入	「いかのおすし」の約束をする。警察署員の方の指導を受ける。	
6月21日	火災	火災報知器が鳴ったら、保育士の下に集まり、静かに放送を聞く。	避難・消火（模擬）
7月21日	地震・火災	災害によっては靴を履いて避難する場合もあることを知る。	避難・消火（模擬）
8月21日	火災	朝の自由保育中なので担任以外の保育士の指示に従い避難する。	避難・消火（模擬）
9月21日	風水害・火災	強風時は風向き等も考え、安全に避難することを知る。	避難・消火（模擬）
10月20日	強震・火災	地震の基本的行動後、火災が起きた場合の行動を知る。総合訓練の意味を知る。	避難・消火（模擬）・総合
11月21日	風水害・火災	いろいろな災害があることを知り、その都度避難の仕方の違いを知る。	避難・消火（模擬）
12月21日	火災	避難行動の慣れによる油断のないように気をつける。	避難・消火（模擬）
1月12日	不審者侵入	避難行動を各自しっかり身につける。	
1月19日	雪害・火災	積雪による災害もあるということを知る。	避難・消火（模擬）
2月21日	火災	降雪時に避難する場合の注意点を知る。	避難・消火（模擬）
3月20日	火災	「おかしもの約束」を確認する。	避難・消火（模擬）

※消防設備点検、年2回＜(有)津軽防災設備＞消防署への届け出有り



◇平成29年度主な行事

月日	行事名	月日	行事名	月日	行事名
4月 1日	入園式	4月 29日	浪岡桜祭り(太鼓)	5月 2日	こどもの日の集い
5月 8日	赤十字集会	5月 19日	防火防災総合訓練	5月 23日	交通安全教室
6月 3日	保育参観	6月 8日	野外保育(総合公園)	6月 9日	不審者防犯総合訓練
6月 12日	女鹿沢小学校見学	6月 24日	安心安全合同パレード	7月 7日	七夕の集い
7月 15日	ちびっ子祭り	8月 20日	北島祭り合同パレード	9月 2日	運動会
9月 9日	女鹿沢公民館祭り(太鼓他)	9月 23日	幼児音体フェスティバル	10月 4日	十五夜の集い
10月 5日	野外保育(浅虫水族館)	10月 14日 15日	宿泊保育(八甲田丸)	10月 20日	防火防災総合訓練
10月 28日	焼きいも会(小学生参加)	11月 15日	七五三参拝	11月 16日	市民図書館おはなし会
11月 18日	保育参観	11月 22日	勤労感謝職場訪問	12月 9日	遊戯会
12月 12日	津軽医院望年会(遊戯)	12月 13日	津軽医院望年会(遊戯)	12月 25日	クリスマス会
12月 26日	餅つき会	1月 10日	昔っこ交流会	1月 12日	防犯訓練
2月 3日	節分の集い	2月 8日	自由参観	2月 9日	自由参観
2月 10日	自由参観	3月 3日	雛祭りの集い	3月 4日	チャリティー芸能発表会
3月 10日	タイムカプセル開封	3月 23日	お別れ会	3月 24日	卒園式
3月 25日	出初め式	3月 31日	修了式		

○特別保育事業

◇延長保育促進事業

◆目的・効果

就労形態の多様化、通勤時間の増加等による延長保育に対する需要に増加傾向にあり、保護者の就労、通勤時間などに応じて、保育時間を心配することなく、安心して勤務や通勤のできる環境が出来た。

◆事業概要

区分	延長時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用人数 標準	1時間	123	140	130	149	119	114	124	133	126	121	101	118	1498
	2時間	41	46	60	54	30	41	31	25	44	21	46	70	509
短時間(前)	1時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短時間(後)	1時間	0	0	0	11	10	24	0	0	0	0	0	0	45
	2時間	0	0	0	7	11	6	0	0	0	0	0	0	24

◇一時預かり事業

◆目的・効果

継続的短時間就労、職業訓練や保護者の傷病・出産・看護・冠婚葬祭・育児等による心理的、肉体的負担を解消するため等で、一時的に家庭での保育が困難になった場合に児童を一時的に預かることで地域や保護者のニーズに応えることが出来た。

◆事業概要

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 延べ 利用 人数
延べ 利用 人数	4時間未満	2	3	3	6	3	6	5	5	7	6	2	5	
	4時間以上	4	2	5	16	7	7	1	2	4	0	4	0	
	計	6	5	8	22	10	13	6	7	11	6	6	5	78

◇保育所地域活動事業

◆目的・効果

地域に開かれた保育園として、専門的な役割を提供しながら積極的に地域の児童を受け入れ、保護者の就労に配慮した対応、地域のニーズに合わせた活動を行う。

<異年齢児交流等事業>

○ちびっ子まつり（7月15日）○焼きいも会（10月28日）

○クリスマス会（12月25日）○餅つき会（12月26日）○昔っこ交流会（1月10日）

<小学校低学年受け入れ>

○小学校低学年児童を受け入れ、当該児童の適切な処遇、安全の確保等を図る。

平日：下校後～18時

学校休業日：7時～18時

◇休日保育事業

◆目的・効果

保護者の就労形態の多様化に伴う日曜祝日等の保育に欠ける児童への対応が可能となり、急用等にも対応でき、保護者が安心して勤務や用事が済ませられる環境が出来た。

◆事業概要

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
実施日数	6日	7日	4日	6日	5日	6日	6日	6日	6日	4日	5日	5日	66日
延べ利用数	21人	24人	15人	17人	13人	22人	12人	13人	20人	10人	7人	112	186人

## 《こども園 瑞穂》

### ＜教育・保育方針＞

1. 健康な心身を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
2. 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、相手を思いやる心や自立心を育て、人と関わる力を養う。
3. 周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れて行こうとする力を養う。
4. 経験したことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲などを育て言葉に対する感覚を養う。
5. 感じたことや考えたことを自分なりに放言することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

### ○児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	3	4	4	7	7	8	8	8	8	9	10	10	86
1歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
2歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
満3歳児	1号	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	2	10
3歳児	2,3号	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	227
4歳児	1号	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	2,3号	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
5歳児	1号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	2,3号	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
計	1号	4	4	4	4	4	5	5	6	6	6	6	58
	2,3号	76	77	77	80	80	81	81	81	81	82	83	961

### ○健康管理

#### ・健康診断

歯科健診	なみおか歯科矯正・小児歯科 ＜柿崎 寛＞	4月10日	10月28日
内科検診	田原小児科内科医院 ＜田原 悌＞	4月27日	10月19日

- ・発育測定 毎月実施・記録・カウプ指数の算出
- ・感染症の予防、早期発見の取り組みより、まん延することを防ぐことはできた。
- ・園児ひとり一人の発育発達の個人差に留意し、健康な生活習慣を身につけ、成長できるように取り組んだ。
- ・薬剤師による環境検査

6月6日：飲料水検査（良好）

6月13日：給食施設簡易検査（水質：適・食器洗浄：不適・大腸菌群：無）

※ 対応＝古い食器は新しいものと交換する。

7月25日：ホルムアルデヒド・トルエン検査（良好な環境）

8月2日：ダニアレルギー検査（陰性で良好な環境）

10月20日：照度検査（良好な照度を確保している）

2月27日：空気検査（気流が無く、換気が必要である）

※ 対応＝こまめに換気を行う。

○栄養管理

- ・ 日常の献立作成の栄養管理、荷重平均食料等、パソコンソフトによる給食事務
- ・ 両園の栄養士による協議
- ・ 家庭との連携の取れた無理のない離乳が進められた。
- ・ アレルギー児童に対しては、それぞれの子どもに対応し、代替食・除去食を行う。
- ・ 食育計画を立て、保育教諭と給食担当者が連携を取り、協力しながら進めた。
- ・ 毎月、給食会議で状況を報告し協議を行い、次の月に活かし目標に繋げた。

○安全管理

・交通安全指導

月	ねらい	状況・自己評価
4月	道路には危険が多く、約束があることを知る。	紙芝居を読み、子ども達と道路での交通安全について話すことができた。信号パネルの出番がなく来月に行く。
5月	道路の安全な歩き方、渡り方を知り、守っていく。	天気に恵まれ、各クラス戸外に出ることも多く、安全な歩き方を担任から教えて貰っていた。
6月	チャイルドシート・ジュニアシートや自転車用ヘルメットの大切さ、使用することを約束する。	参観日での呼びかけができず、残念であった。朝の体操前に子ども達には話したが、守れているか不明である。
7月	駐車場やその他の場所で止まっている車の近くなどは危険であると知る。	車の側で遊ばない話ではできたが、死角についての話をどのようにすればよいか難しく、なかなか説明ができなかった。
8月	夜の交通安全について一緒に考え守る。	お盆やお祭りで休む子が多く、運動会の練習できちんと話せる場がなかった。7月末に夜の交通安全について話すべきだった。
9月	飛び出しの危険性を知り、気をつける。	1歳児にも分かり易い紙芝居を使って信号や止まることなどをみんなで学ぶ。気をつけることを約束する。
10月	道路標識の存在を知り、興味を持つ。	身近なものだったので見たことがある。と反応が良かった。年少児に詳しい子がいた。標識を意識し守ろうという気持ちをもってほしい。
11月	再度、チャイルドシート・ジュニアシートの必要性を確認していく。	子ども達と朝の体操時、チャイルドシートに乗る約束をする。警察の方から参観日に話してもらい、保護者への周知に効果があった。
12月	凍結、雪道の危険性を知り、安全な歩き方をする。	警察の方から交通安全について話してもらう。パネルやマスコットを使用したので、子ども達は集中して、しっかり聞いていた。
1月	冬の特別な車を伝え、自分たちがどのように守られているかを知る。	写真を見て「除雪車だ。」「知っている。」と、反応してくれた。とても集中して真剣に話を聞いていた。
2月	軒下やつらの危険性を知る。	つららや屋根の雪の話をする時静かに素直に聞いていた。
3月	交通安全とは何か。どんな事が危険であったか再確認し守る。	防犯についてのパネルシアターも実施。静かに聞いていた。交通ルールのクイズを子ども達と確かめ合う。

- ・ 交通指導員による交通安全教室＜6月8日＞
- ・ 青森南警察署員によるチャイルドシート装着推進講習会＜6月10日＞
- ・ 青森南警察署員による交通安全指導＜12月27日＞

◇避難訓練

月日	想定	ねらい	
4月25日	火災	○非常時の合図を知る	避難・消火（模）
5月18日	火災（総合訓練）	○非常時の合図で保育教諭の所に集まり、指示に従い行動する。 ○火災の恐ろしさを知る	避難・通報・消火（模）・総合
6月19日	地震（強震）	○地震の避難方法を知るとともに地震による火災についても知る。	避難・消火（模）
7月18日	火災	○火災の基本行動を知る ○第2避難場所、経路を知る	避難・消火（模）
8月18日	火災	○非常の合図を聞き、担任以外の保育教諭の指示に従って行動する。 ○3つの約束を知る	避難・消火（模）
9月19日	地震（弱震）	○地震の基本行動を知る。	避難・消火（模）
10月18日	火災 （総合訓練）	○非常の合図を聞き3つの約束を守り避難する。	避難・通報・消火（模）・総合
11月18日	火災	○指示に従って敏速に避難する。	避難・消火（模）
12月18日	火災	○保育教諭の指示に従い、約束を守り落ち着いて避難する。	避難・消火（模）
1月18日	火災	○降雪時の避難方法及び経路を知る	避難・消火（模）
2月19日	火災	○避難行動の慣れによる油断のないようにする。	避難・消火（模）
3月17日	火災	○約束を守り、落ち着いて避難できるようになる	避難・消火（模）

※消防設備点検、年2回<(有)津軽防災設備>消防署への届け出有り

◇防犯訓練 ・6月6日（園内） ・11月1日（園内）

◇平成29年度主な行事

月日	行事名	月日	行事名	月日	行事名
4月1日	入園式	4月29日	浪岡桜祭り(太鼓)	5月1日	こどもの日の集い
5月18日	防火防災総合訓練	5月30日	赤十字集会	6月1日	野外保育(アップルヒル)
6月6日	防犯訓練	6月8日	交通安全教室	6月10日	保育参観
6月24日	安全安心合同パレード	7月1日	ちびっこ祭り	7月7日	七夕の集い
7月9日	りんどう苑祭り(太鼓)	7月29日・30日	宿泊保育(年長児・学童)	8月20日	北畠祭り合同パレード
9月9日	運動会	9月21日	交通安全街頭指導	9月23日	幼児音体フェスティバル
9月30日	あびねすイベント(年長児)	10月4日	十五夜の集い	10月12日	野外保育(浅虫水族館等)
10月18日	防火防災総合訓練	10月21日	思い出旅行(ひつじ組)	10月28日	焼きいも会
11月1日	防犯訓練	11月8日	市民図書館おはなし会	11月11日	保育参観
11月15日	七五三参拝	11月21日	勤労感謝訪問<青森南警察署>	12月16日	お遊戯会
12月22日	クリスマス会	12月27日	餅つき会	1月11日	昔っこ交流会
2月3日	節分の集い	2月10日	冬の保育参観	3月3日	雛祭りの集い
3月4日	チャリティー芸能発表会	3月11日	タイムカプセル開封	3月22日	お別れ会
3月24日	卒園式	3月25日	出初め式	3月31日	修了式

◇子育て支援事業

・園庭開放：利用 0名 ・子育て広場：利用4回（延べ4組の親子参加）

◇実習・インターシップ・職業体験等の受入れ

- ・保育実習：東北女子短期大学（2年） 1名（8月17日～31日）
- ・教育実習：弘前厚生学院（2年） 1名（5月29日～6月23日）
- 東北女子短期大学（2年） 1名（9月6日～28日）
- ・保育実習：青森中央短期大学（1年） 1名（2月19日～3月3日）
- ・職場体験：浪岡中学校（2年） 3名（7月5日～7月7日）

○特別保育事業

◇延長保育促進事業

◆目的・効果

就労形態の多様化、通勤時間の増加等による延長保育に対する需要が増加傾向にあり、保護者の就労、通勤時間などに応じて、保育時間を心配することなく、安心して勤務や通勤のできる環境が出来た。

◆事業概要

区分	延長時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用人数	1時間	196	253	191	204	155	231	230	211	253	226	234	269	2653
	2時間	61	56	39	47	40	56	58	48	20	23	14	22	484

◇一時預かり事業＜幼稚園型・一般型＞

◆目的・効果

幼稚園型：一斉認定子どもが教育時間終了後、様々な状況により家庭での保育が困難となった場合に一時的に預かる。

一般型：継続的短時間就労、職業訓練や保護者の傷病・出産・看護・冠婚葬祭・育児等による心理的、肉体的負担を解消するため等で、一時的に家庭での保育が困難になった場合に児童を一時的に預かることで地域や保護者のニーズに応えることが出来た。

◆事業概要

＜幼稚園型＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用数	17	21	23	20	20	24	51	38	38	32	42	47	373

＜一般型＞

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間延べ利用人数
延べ利用人数	4時間未満	0	0	10	1	1	2	1	0	1	0	0	0	
	4時間以上	0	1	0	0	1	4	0	1	0	0	0	1	
	計	0	1	5	0.5	1.5	5	0.5	1	0.5	0	0	3.5	18

※ 年間延べ利用に人数が25人に満たなかったため、補助金を受けられませんでした。

◇障がい児保育事業

◆目的・効果

中程度の障害のある児童の特性等に配慮して教育・保育を行うことを目的に実施し、保育教諭等の加配等を行うことにより、児童の処遇等が図られた。

◇保育所地域活動事業

◆目的・効果

地域に開かれた保育園として、専門的な役割を提供しながら積極的に地域の児童を受け入れ、保護者の就労に配慮した対応、地域のニーズに合わせた活動を行う。

<異年齢児交流等事業>

○焼きいも会（10月28日）      ○クリスマス会（12月22日）

○餅つき会（12月27日）      ○昔っこ交流会（1月11日）

<小学校低学年受け入れ>

○小学校低学年児童を受け入れ、当該児童の適切な処遇、安全の確保等を図る。

平日：下校後～18時      学校休業日：7時～18時

◇休日保育利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
実施日数	6日	7日	3日	6日	5日	6日	5日	6日	7日	6日	4日	4日	65日
延べ利用数	20人	26人	9人	23人	20人	26人	16人	22人	46人	15人	17人	14人	254人

《病児保育事業》

青森市病児一時事業（委託事業）

委託期間平成29年4月1日から平成30年3月31日

◇利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
利用数	未満児	2人	5人	0人	0人	2人	3人	4人	1人	1人	1人	0人	0人	19人
	以上児	2人	3人	0人	0人	0人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	8人
	小学生	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	計	4人	8人	0人	0人	2人	6人	4人	1人	1人	1人	0人	0人	27人

◇利用児童の主な病名

- ・急性上気道炎    ・ロタウイルス性胃腸炎    ・急性中耳炎    ・急性腸炎    ・結膜炎
- ・急性気管支炎    ・急性気管扁桃炎    ・RSウイルス感染症    ・急性咽頭炎

※ 補則すべき重要事項はないので、附属明細書の作成はしていません。